

## 新システムへの移行

今月1日から新たなコンピュータシステムの下、県立図書館が動き出し、早1か月が経ちました。5年ぶりにホームページのデザインも一新しましたが、ご覧戴きましたでしょうか。便利な機能が増えましたので、操作方法等でご不明な点があれば、お気軽に職員に声をおかけください。

稼働当初は、ホームページのサービスが停止する等、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。

今号では、マイライブラリーの機能についてご説明いたします。この機会に是非ご活用ください。

**新機能**

**マイライブラリー**で

**快適図書館ライフ!**

新しいホームページの「マイライブラリー」は使ってみましたか？

便利な機能がたくさんありますので、ぜひご利用ください。

### マイライブラリーはこんなに便利!

- ① 借りている本が確認でき、ご自分で貸出期間の延長ができます。
- ② 本の予約と、予約している本の状況がわかります。
- ③ 県立図書館の本のデータを使って、自分だけのブックリストが作れます。
- ④ 新しく入った本のリストを、お好みのテーマを選んで表示できます。
- ⑤ 著者名などを登録しておく、その著者の本が新しく入った時に、メールでお知らせします。



### マイライブラリーを使うには?

**ステップ①** ご来館時に、仮パスワードの発行をカウンターにお申し込みください。

今まで予約機能をお使いだった方も、10月以前のパスワードは無効になっていますので、新規に仮パスワードを発行いたします。

**ステップ②** 仮パスワードでログインし、「パスワード変更」画面で、本パスワードに変更します。(仮パスワードのままでは、マイライブラリーは利用できません。)

**これで準備 OK。ログインしてさっそく使ってみましょう!**

マイブラリー  
新機能

# 貸出期間の延長をしてみましょう



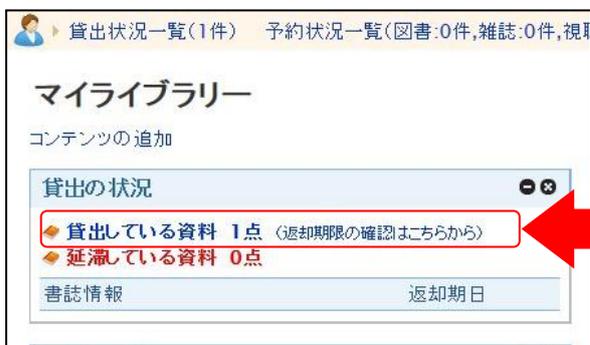
## ① マイブラリーにログインします



トップページにある  
ログインするを  
クリックします。

「資料貸出券番号」と  
「パスワード」を  
入力します。

## ② 「貸出状況一覧」画面を表示させます



「貸出している資料」を  
クリックすると、  
「貸出状況一覧」画面が  
表示されます。

## ③ 貸出期間の延長をしたい本の右端にある「延長」ボタンをクリックします

貸出状況一覧表

No.	書誌情報	書誌種別	貸出館	貸出日	返却期日	予約数	延長回数	貸出
1	オーストラリア・カナダの法と文化 社会科学研究所叢書 中京大学社会科学研究所オーストラリア・カナダ研究部会／編 成文堂	図書	西部図書館	2012/11/23	2012/12/07	0	0	延長

「貸出の延長を行います。よろしいですか?」と表示されますので、

OKをクリックします。

延長を押した日から2週間延長されます。

千葉県立図書館の本に限り、貸出期間を一度だけ2週間延長することができます。  
他の方が予約をした本や、返却予定日を過ぎている本は延長できません。

# 使ってみよう! 便利なデータベース

西部図書館内で利用できるデータベースを紹介します



## 官報情報検索サービスの巻

「官報情報検索サービス」は「官報」の全文検索・閲覧ができるデータベースです。

### 官報って何?

国が発行する機関紙で、新しい法律、政令等の法令や、叙位・叙勲、地価公示、国家試験などの広報、中央省庁・地方自治体・裁判所・会社等による公告が掲載されます。

### 何が調べられるの?

◆平成24年の厚生労働省告示第183号が見たい。介護保険事業に関する内容のもの。

法令番号がわかっている場合には「法令等号数検索」画面でも検索できます。

◆「〇〇株式会社」の決算公告が官報に掲載されたい。いつの官報に載っていますか?

会社名で検索し、掲載された号を探すことができます。会社によっては、官報に決算公告を掲載していません。

◆土地改良換地士の試験情報を知りたい。

試験名で検索し、試験日や会場など試験情報が掲載された日を探すことができます。官報に、合格者の受験番号や氏名が掲載される国家試験もあります。

### 【記事検索/詳細検索画面】

\*ご利用前にカウンターにお声かけください。ID・パスワードを職員が入力します。

\*画面のプリントアウトもできます。

# Book Review

## ちょっと気になる新刊図書

『だしとは何か』 熊倉功夫, 伏木亨監修 アイ・ケイコーポレーション 2012

〔請求記号 49851/47〕

「だし」とは多くの人にとって、とても身近なものでありながら自分で取るとなると少し敷居の高いような、不思議な存在ではないでしょうか。

この図書は、「だしとは何か」「日本のだし」「世界のだし」…という各章のタイトルを眺めるだけでも「だし」の世界の広さを感じさせてくれますが、「風味調味料とだし」として、いわゆる「だしの素」「スープの素」の類にも1章割いて解説していて興味深いです。

煮込み料理のおいしくなる季節に、「だし」の秘密を科学的に知って、より深く味わってみるのはいかがでしょうか？

## 利用者アンケートにご協力いただき

## ありがとうございました

10月10日～10月21日の期間中、来館された皆様に利用者アンケートをお願いしました。

延べ153名の方がご協力下さり、満足度では8割以上の方に良い評価をいただきました。

今回、寄せられたご意見等を参考に、今後もより良いサービスに努めてまいります。

### 編集後記

本誌もおかげさまで通算50号となりました。記念すべき号の特集は、新しいホームページの紹介とさせていただきました。様々な機能が追加されましたので、読書や調べものに幅広くご活用ください。

West Library 千葉県立西部図書館だより 第50号

発行日：平成24年11月30日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7

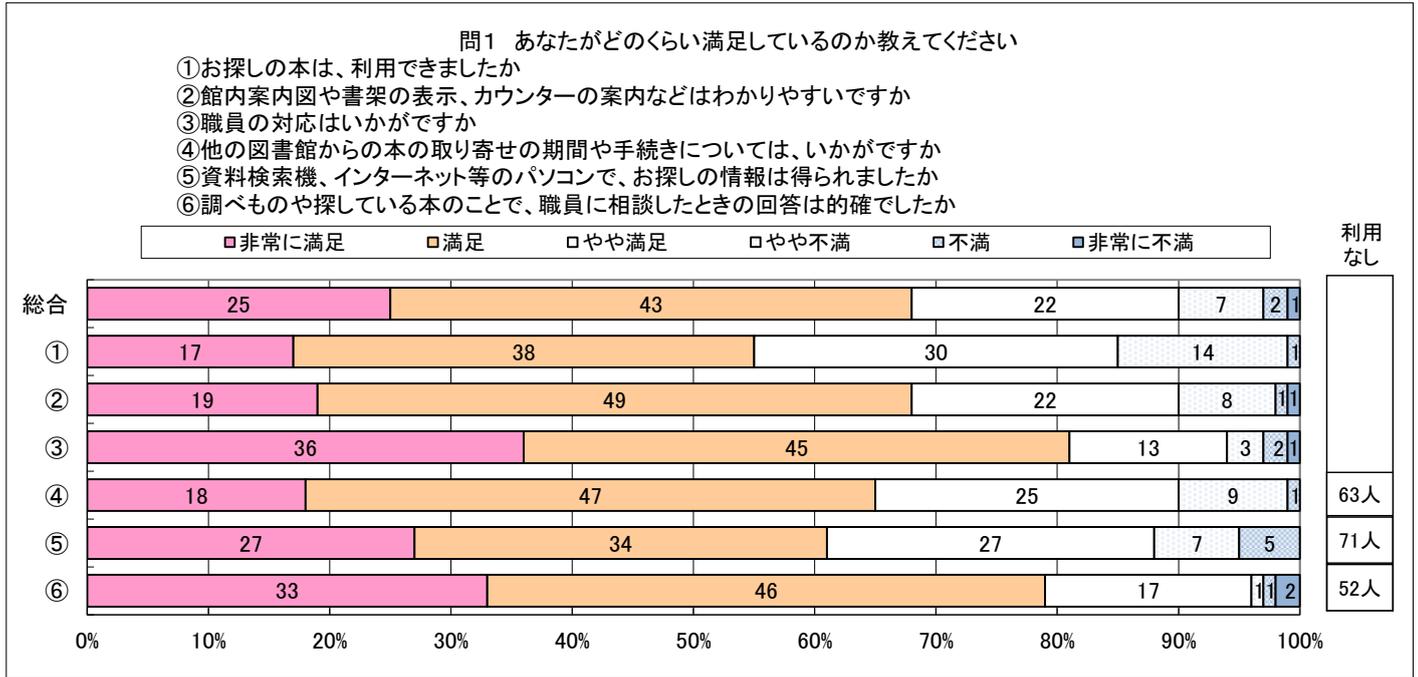
TEL047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

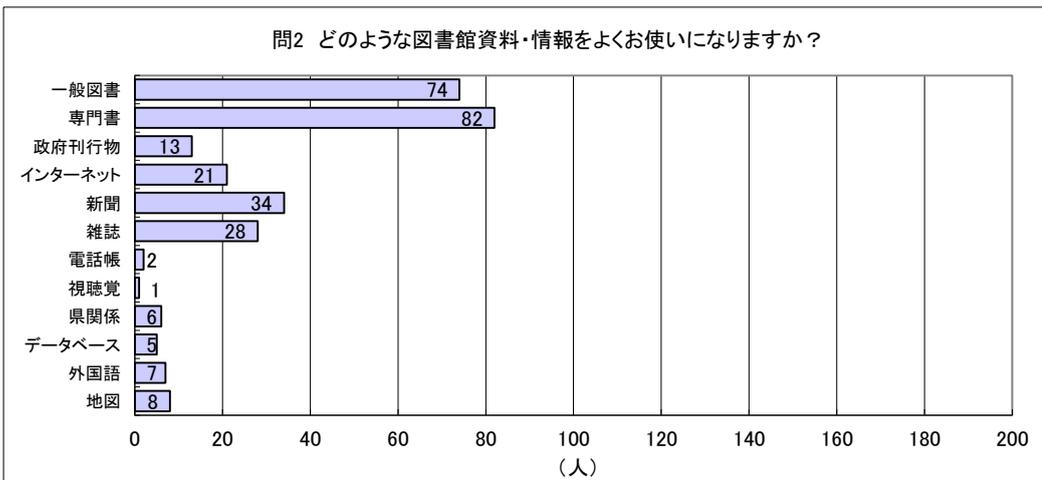
ISSN:0918-7383

# 西部図書館アンケート結果

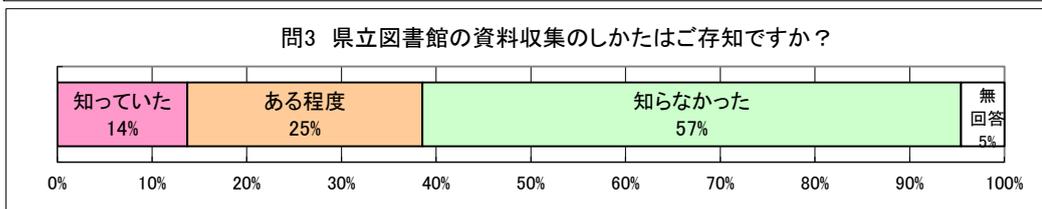
平成24年10月10日～21日の期間中に実施しましたアンケート調査の結果をご報告いたします。アンケート回収枚数は153枚で回収率は51%でした。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。



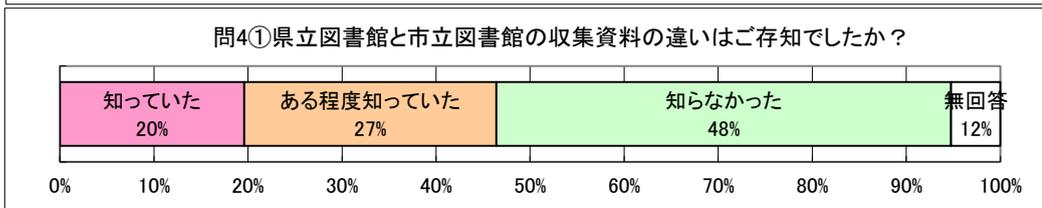
サービスの満足度については、6設問とも「非常に満足」、「満足」又は「やや満足」と回答した方が約8割以上と高い評価をいただきました。また、④～⑥設問に関しては、利用なしと回答した方が昨年同様多く、いずれも回答者全体の1/3以上を占めています。



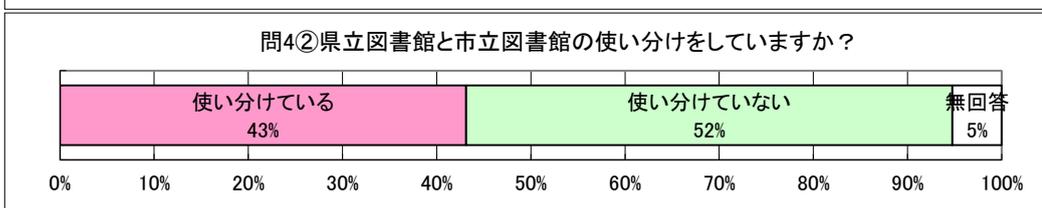
よく利用する図書館資料については、一般図書、専門書の利用が多く、次いで新聞、雑誌となっています。この傾向は昨年度と同じです。



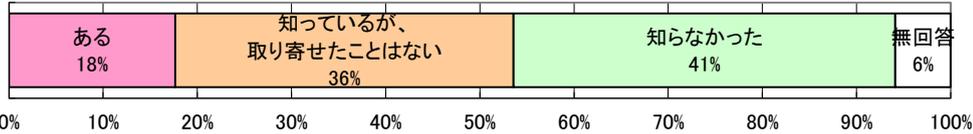
県立図書館では、各図書館の重点収集分野を定め、3館での重複を避けた資料収集をしています。このような県立図書館の資料収集方針の認知度は、昨年度とほぼ同様で、「知っていた」「ある程度知っていた」を合わせて39%でした。（昨年度 43%）



問4については、昨年度とほぼ同様の結果でした。県立図書館と市立図書館の違いについて「知っている」と回答した方は、「ある程度知っていた」も含めて、約半数でした（問4①）。実際に、市町村立図書館との使い分けを行っている方となると、約4割にとどまっています（問4②）。問5の市町村立図書館を通じての県立図書館の本の取り寄せについては、利用率は、約2割でした。



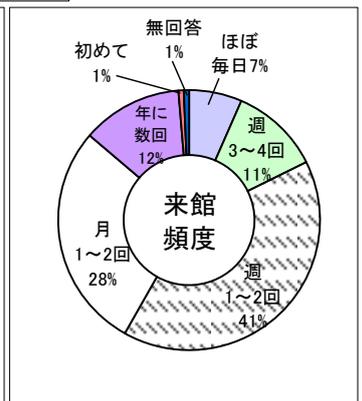
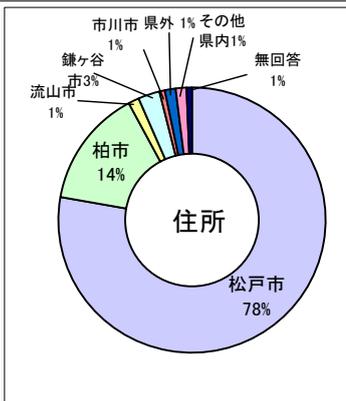
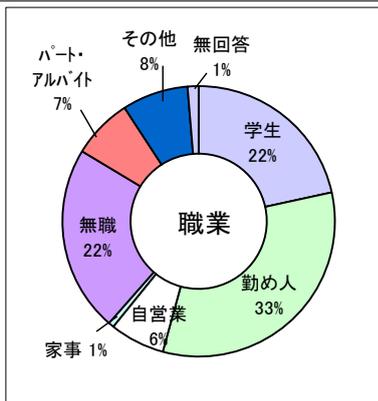
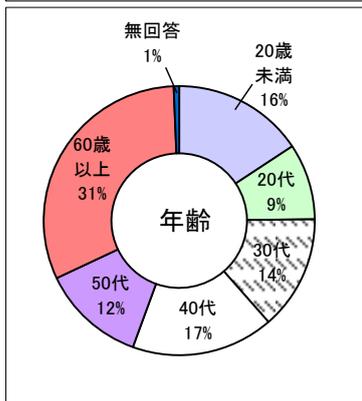
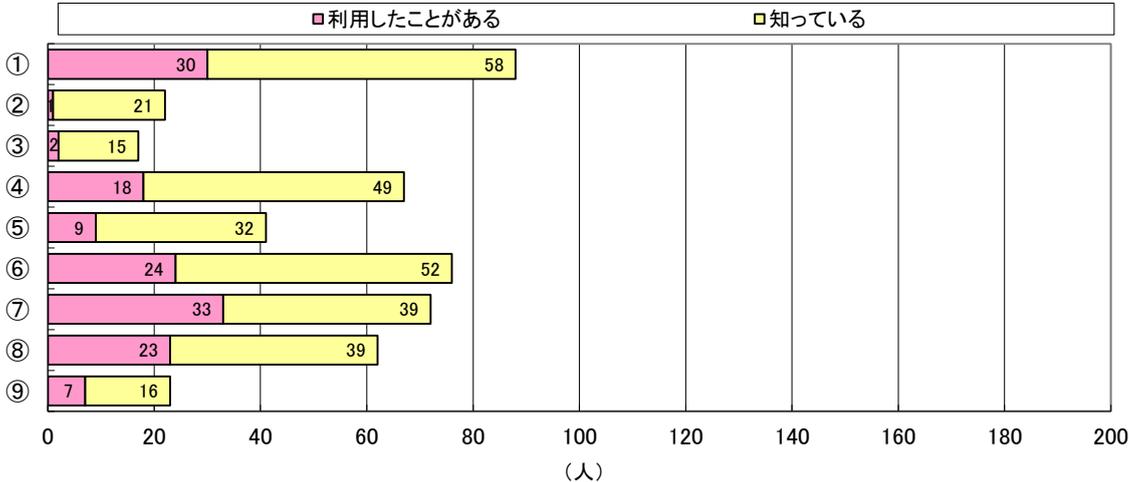
問5 市町村立図書館を通じて県立図書館の本を取り寄せたことがありますか？



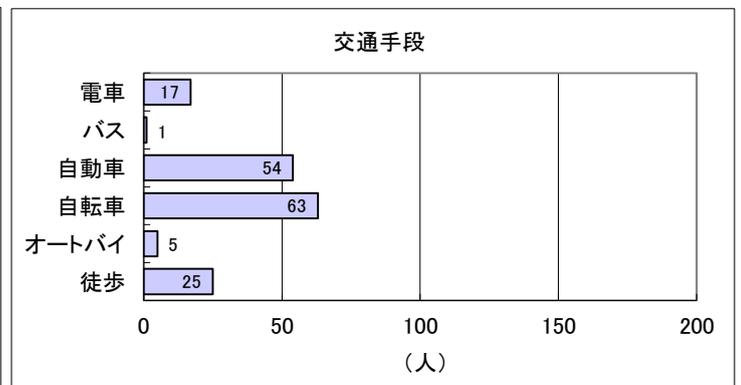
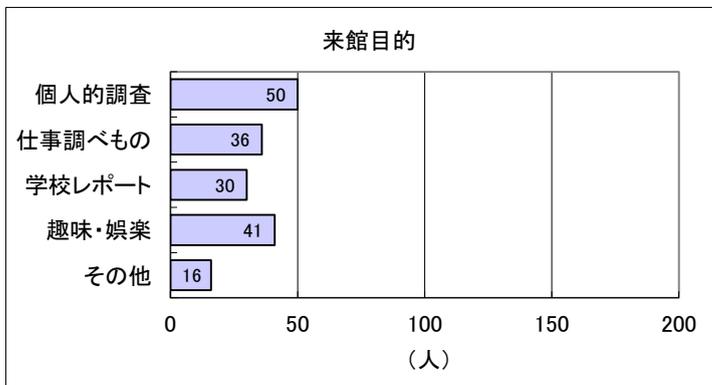
問6 サービスの紹介

- ①資料や情報を探すなど、調べ物の相談
- ②メールレファレンス
- ③パスファインダー
- ④県立図書館にない本やコピーの取り寄せ
- ⑤データベースの利用
- ⑥電子機器席での持ち込みパソコン、電卓の利用
- ⑦県立図書館のホームページの閲覧
- ⑧県立図書館ホームページから本の検索や貸出予約
- ⑨West Library

今回お尋ねしたサービスのうち、①調べ物の相談についてが、最も広く知られていました。「知っている」+「利用したことがある」を合わせると、回答者全体の6割弱を占めます。しかし、②③⑨は「知っている」+「利用したことがある」を合わせても、2割以下でした。様々な図書館サービスについてもっと知って利用していただけるよう、広報に努めてまいります。  
(回答総数153人)



回答者の3割強が60歳以上で、続いて20歳未満、40代の順になっています。職業については、「勤め人」が33%、次いで「学生」「無職」が22%でした。昨年度アンケートと比較すると20歳未満の学生の割合が倍になっています。住所については、依然として「松戸市」が約7割と大半を占めています。今回、柏市在住の利用者割合が増加しています。来館頻度は、月1回以上利用される方が8割強で、昨年度アンケートとほぼ同じ割合を示しています。



来館目的は、「個人的な調査」、「趣味・娯楽」が多く、昨年度と同様でした。交通手段としては、「自転車」、「自動車」が多く、続いて「徒歩」の順になっています。「電車」「バス」等の公共交通を利用される方は、依然として少数です。

アンケートへのご協力ありがとうございました。